令和4年度　自己評価公表シート

認定こども園　輝きの森学園

1．本園の教育・保育方針、教育・保育目標

教育・保育方針

〇あたたかい保育　〇のびのびと楽しい保育　〇一人ひとりを大切にする保育

〇子ども主体の保育

教育・保育目標

〇心身ともに豊かな子ども　〇思いやりのある子ども　〇意欲のある子ども

〇自分で考えて行動する子ども

2．本園の重点的に取り組む目標・計画

・幼保連携型認定こども園教育・保育要領及び園の全体的な計画を踏まえて、教職員がその内容を確認しながら共通理解を図り、認定こども園全体の教育・保育を高めるとともに、教職員の資質向上に努める。

・時代に即した保育（子どもを主体とした保育）に応える質の高い認定こども園を図る為に、カリキュラムや行事などを見直し、改革を進める。

・保護者の利便性向上、職員の業務負担軽減を図るために一層の業務の見直し、ITの活用を進める。

3．評価項目と取り組み状況（職員による評価の平均値を掲載）

A:十分達成されている　B:達成されている

C:取り組まれているが、成果が不十分　D:取り組みが不十分

	具体的確認項目	評価	取組状況・今後の取組等
保育目標・教育方針			
	幼保連携型として乳児（0～2歳）の育ちから幼児（3～5歳）の教育まで一貫した教育目標や方針が作られているか。	A	「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」に基づき、0歳から小学校就学前までの幼児一人ひとりの発達段階を踏まえて教育・保育の目標が作れている。年間カキュラムをたてる時に利用している。教育目標や方針の共通認識を図れる場を作ることに今後、さらに努力していく。
	目標や方針を共有するための取組が行われているか。	B	目標や方針を共有するために、職員会議や園内研修を行っている一方、全職員が集まって話し合う時間が少いのが課題。パート職員も含め理解、共有できるよう、考えていく必要がある。
教育課程・指導計画			
	学年ごとの成長を踏まえた保育カリキュラムが作られているか。	B	学年ごとに子どもの成長を踏まえた保育カリキュラムを作れている。今年度は、主体性保育を実践するための計画を意識して作成した。

	保育カリキュラムの評価・反省を行い、日々の実践に活かし取り組めているか。	B	日々、反省や振り返りを行って活かしている。

環境整備			
	多様な活動内容や形態に応じた教材、教具がそろえられているか。	B	十分に揃っている。保育に必要なものは、これからも都度購入していく。
保育・教育の充実			
	一人ひとりの乳児・幼児をよく観察し子どもの気持ちを受け入れ、保護者との信頼関係を構築し、興味や能力に応じて活動することにより、成長に応じた関わりがなされているか。	B	個々の成長を把握し、対応している。また気持ちを丁寧に汲むようにしている。
	子どもが主体的に楽しめるような関わりや環境を用意しているか。	B	子ども主体の保育を進めており子どもの声を受け止め、柔軟に準備している。
	身体を動かす機会を十分に確保し、身体を動かす楽しさを味わえるようにしているか。	B	戸外に出てあそぶことが多く、身体を十分に動かしてあそびを楽しめた。 「できた」「できない」ではなく、そこに向かう気持ちを大切にし、体を動かすことが苦手にならないようにしている。
	栽培活動など食育活動を推進しているか。	B	散歩に出かける途中、畑を見たり、絵本で知らせたり、食について興味が持てるよ うにしてる。
	配慮が必要な子どもに対して、職員間で共通理解を図り適切に対応しているか。	B	職員会議で伝えたり、その都度必要に応じて話している。共通理解し、関わることによって子どもが戸惑うことのないようにしていく。
職員の資質・能力向上			
	職員の資質や能力向上のための取組が十分に行われているか。 後輩の育成に努めているか。	B	コロナにより全体での研修が難しく十分取り組みについて伝えられなかった。日々の保育が充実するよう、意見を出し合い取り組んでいく。
	子どもの育ちと人権を第一に考え保育にあたっているか。	A	家庭の状況、成長、月齢を考慮して保育にあたり。思いやりを持って子どもを大切にすることを伝え合っている。
	職務上知りえた個人情報を適正に取り扱っているか。	A	個人情報の重要性について職員にも周知し、適切に取り扱っている。

	自分の感情を把握し、受け止めた上で冷静にコミュニケーションしているか。	B	冷静に関われるために余裕を持つよう心掛けている。

安全管理体制の設備			
	避難訓練・交通安全指導等の実施、感染予防の家庭への啓発、アレルギー児への適切な対応が出来ているか。	A	月１回、避難訓練を行っており、基本の形は理解している。イレギュラーなことが起こっても対応できるように努めている。給食室とも連携し、アレルギー児への対応は、慎重かつ適切に出来ている。感染状況はきちんと保護者に伝える必要があると感じている。
	安全点検（園内、保育室、遊具、ヒヤリハット）を実施し、会議を通して結果や改善点を共有しているか。	B	安全点検を実施している。個々に報告はしているが、全職員が共有する場が少なかったので、共有できる場を作るように努めていく。
子育て支援			
	様々な機会を通して子どもの様子や出来事を伝え合い保護者との相互理解をはかっているか。	B	電話、対面、ルクミー、懇談で子どもの良いところを伝えるとともに、保護者の関わりについて聞き情報交換をしつつ、より良く育つように意識し、関わっている。
	地域の子育て支援として、園庭開放など子育て支援活動を行っているか。	A	園庭開放など子育て支援活動を行っている。地域のサークルに園を使ってもらうなど、園内の支援に来れない人にも機会を持ってもらっている。
保護者・地域との連携			
	園の教育・保育方針について、保護者にわかりやすく伝えているか。	C	日々のルクミーでの発信や折に触れ、園の思いを伝えているが、うまく伝わっていない。園の教育。保育方針について保護者にわかりやすく伝えていきます。
	園の教育・保育方針や園の情報をおたよりやホームページ等で地域に発信しているか。	C	ホームページ等で発信しているが、見ている人が少ない。方針や目標を保護者に大きく知らせる場が少なかったので、発信のやり方を工夫していく。
運営管理			
	職員間の協力の声掛けや意見や提案を言うことができているか.	B	気軽にコミュニケーションが取れる場を作り、どの職員も思いや考えを言えるように努めていく。

	職員の業務負担軽減を図るために、ITの活用を進めているか。	C	ITを導入しているが、負担軽減につながっているかは、現在、模索中。ITの活用で業務負担軽減できるようしていく。
	仕事の係分担やチーム体制が適切に機能しているか。園の明確な運営・責任体制ができているか。	C	事務所から発信することがまだまだ多い。各担当者が責任をもって行う習慣を作っていく。
	IT導入することで、保護者の利便性が向上しているか。	B	ITに保護者も慣れてきたが、以前の方がよかったと思う人も少数いる。便利に使えるように業者にシステムのレベルアップをお願いしていく。
情報提供			
	保護者や関係者に対して十分かつ効果的な情報提供をおこなっているか。	C	情報発信が遅れることがあったり、効果的な情報提供が行えていなかった。

４．今後取り組む課題について

職員の保育観を話し合う場を多く持ち、方針や保育目標の共通理解を持つことが課題である。
保護者の方に対しては、情報を早く丁寧に伝え、保護者に心を寄り添うことが大切であり、コミュニケーションを取る機会を増やし、相互理解を深めていくことが課題である。